

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 リーディング・ライティング			選択必修	1	1.2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
ジョン・阿部・アギナルド		講師控室	john.aguinaldo		授業またはメールにおいて 質問等受付	
授業の目的・概要	グローバル化の進む現代において最新の情報を得るためには英語で記述された情報を敏速・正確に読み取り理解する能力が必要である。また、情報交換や発表の場においても、英語を用いて自分の考えや研究成果を発信する機会が増えてきている。英語リーディング・ライティングではこのような時代に対応するために必要な Reading と Writing 技能を中心に英語力の向上を目指すことを目的とする。同時双方向型授業の講義では基本文法の復習を行い、次にパラグラフ構成の基本、文章から必要な情報を得、概要や要点をまとめる方法を明らかにする。選択したテーマについて構想を立て、アウトラインを作成し、それを基に文章を書くというライティング練習・フィードバックを行いながら、実際にパラグラフを書く技術を身につける内容となっている。					
学習上の助言	日ごろからできるだけたくさんの英文を読む機会を持ちましょう。雑誌や、新聞、また、Web でも構いません。自分にとって興味、関心のあるトピック、楽しめるものから始めるとよいでしょう。					
教科書	なし					
参考書	英和辞典、英語類義語辞典					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	英文の主語、動詞、目的語、補語、修飾語のそれぞれを見分けることができる。				HSU(2)	
②	文法的な間違いなく、10 単語以上の英文を書くことができる。				HSU(2)	
③	アウトライン (下書き用メモ) を作成し、有効的にライティングに活かすことができる。				HSU(2)	
④	パラグラフの書き方のルールを理解できる。				HSU(2)	
⑤	パラグラフの構成を意識した文を書くことができる。				HSU(2)	
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	クラス概要、授業予定、確認テスト	同時双方向型授業	英語 5 文型を調べておく。	0.5		
2	英文構造 (SV, SVC, SVO) を学ぶ。	同時双方向型授業	SV, SVC, SVO 文を練習する。	1		
3	英文構造 (SVOO, SVOC) を学ぶ。	同時双方向型授業	SVOO, SVOC 文を練習する。	1		
4	“s” の4つの機能を学ぶ。	同時双方向型授業	授業中書いたメモの復習	0.5		
5	時制 (現在・過去・未来・進行) の使い方を学ぶ。	同時双方向型授業	様々な時制で文を書く。	1		
6	“that” の4つの機能を学ぶ。	同時双方向型授業	That の各機能を使って文を書く。	1		
7	“-ing” 進行形と動名詞の違い、使い方を学ぶ。	同時双方向型授業	授業中書いたメモの復習	1		
8	等位接続詞・従位接続詞の機能、使い方を学ぶ。	同時双方向型授業	接続詞を使って長文を書く。	1		
9	パラグラフ構造と topic sentences について学ぶ。	同時双方向型授業	トピック文の使用例を文献・インターネットから探す。	1		
10	アウトラインの作り方、transition phrases を学ぶ。	同時双方向型授業	トピック文の使用例を文献・インターネットから探す。	1		
11	日本語 (長文) の英語翻訳方法を学び、練習する。	同時双方向型授業	簡単な段落を書いてみる。	1.5		
12	プロセス (工程) について書くことを通し、パラグラフライティングを練習する。	同時双方向型授業	パラグラフを書く。	1		
13	フィードバックを得て、それぞれが選択したトピックについて書き始める。	同時双方向型授業	パラグラフを書く。	1		
14	フィードバックを得て、選択パラグラフを完成する。	同時双方向型授業	前の課題の間違っているところを見直す。全てのメモを復習する。	1.5		
15	最後のライティングの練習を行う。これまでに習ったことを使うようにする。	同時双方向型授業	パラグラフを書く。	1		
試	試験					

【2020 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		40	60	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	22	40	0	0	0	62
	思考・推論・創造する力	3	0	0	0	0	3
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	6	5	0	0	0	11
	取組みの姿勢・意欲	9	15	0	0	0	24
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	試験：トピックを選び、英文でパラグラフを書く。(総合評価の40%) 評価：構成、正確な文法、トピックにふさわしい内容、正しいフォーマットに従って書かれているかを評価する。 加点ポイント：全体的な長さや、語彙の選択			パラグラフの評価と添削	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①	✓	レポート：8つの課題が与えられる。(文レベルのものからパラグラフまで) 評価：授業で学ぶ文法項目や、ライティングのコンセプトを正確に使えているかを評価する。 加点ポイント：馴染みのない単語やフレーズを使用する試み、課されたテーマ以上の努力。(課題全部で科目評価の60%)			8つのレポートを評価、添削	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Teams を使った同時双方向型授業を行う。課題ダウンロード、DVD 鑑賞などを行うことがあり授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。</p> <p>尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>課題もしくは試験・レポートにおいて、インターネットや他者の英文からのコピーが認められた場合、その課題、試験・レポートごと、評価は0点とする。</p>							